

## 橿原市廃棄物減量等推進審議会議事録

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名         | 平成 30 年度第一回橿原市廃棄物減量等推進審議会                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 開催日時          | 平成 30 年 7 月 26 日（木） 午前 10：00～11：45（1 時間 45 分）                                                                                                                                                                                                                                     |
| 開催場所          | クリーンセンターかしはら 3F 研修室                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 出席委員          | 川上委員、仲川委員、村田委員、安田委員、中村委員、新宅委員、鶴田委員、上農委員、紙本委員、当麻委員<br>以上 10 名                                                                                                                                                                                                                      |
| 欠席委員          | 米田委員、森本委員<br>2 名                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事 務 局         | 環境づくり部：森脇部長<br>環境企画課：高橋課長、西村統括調整員、梶井主査、松尾主査<br>環境業務課：奥田課長<br>環境保全課：吉川課長、瀬尾補佐<br>環境衛生課：井上課長                                                                                                                                                                                        |
| 次 第           | 1. 開会<br>2. 部長挨拶<br>3. 委員紹介<br>4. 職務代理の選出<br>5. 報告<br>・平成 29 年度橿原市一般廃棄物処理事業（報告）<br>6. 審議<br>・橿原市一般廃棄物処理基本計画の改定について<br>7. その他<br>8. 閉会<br><br>（配布資料）<br>平成 30 年度第一回橿原市廃棄物減量等推進審議会次第<br>【資料 1】 橿原市廃棄物減量等推進審議会委員名簿<br>【資料 2】 平成 29 年度橿原市一般廃棄物処理事業（報告）<br>【資料 3】 橿原市一般廃棄物処理基本計画 骨子（案） |
| 傍聴人数          | 2 名                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 担当部署<br>（事務局） | 環境づくり部 環境企画課<br>〒634-0826 奈良県橿原市川西町 1038-2（クリーンセンターかしはら）<br>TEL：0744-27-7757／FAX：0744-27-7753<br>E-mail： <a href="mailto:kankyokikaku@city.kashihara.nara.jp">kankyokikaku@city.kashihara.nara.jp</a>                                                                             |

## **次第１：開会**

## **次第２：部長挨拶**

## **次第３：委員紹介**

新しく委員に就任された村田委員、紙本委員を紹介。

## **次第４：職務代理の選出**

川上会長の指名により、仲川委員を選任。

## **次第５：報告**

### **○ 平成 29 年度檜原市一般廃棄物処理事業（報告）**

資料 2 を用いて事務局より説明。

### **<以下、本議題における質疑内容>**

#### **（委員）**

エネルギー回収量が計画値を上回っており、素晴らしいことだと思う。これをどんどん増やすよう頑張っていたきたい。

食品リサイクルの計画値と実績値が乖離しており、実績値が少なくなっている。この原因と、それに対する対策はあるか。また、事業系のごみ排出量が平成 29 年度は増加している。これを下げるための新たな施策はあるか。

#### **（事務局）**

食品リサイクルの排出量については事業系一般廃棄物から発生する数値を記載しており、スーパーの食品加工残渣などが、飼料や肥料として再利用されています。このリサイクル事業は、経済情勢に大きく左右されるため、今回はその影響を受けたものと思われます。

市としては、食品リサイクルを行う事業者を積極的に応援していく方針です。

それから、事業系一般廃棄物が増加しているというご指摘についてですが、平成 26 年度

から平成２７年度にかけて、許可業者への搬入検査の強化により１０００ｔほど減少し、その後も減少傾向が続いていましたが、底打ちした形となっています。加えて、大規模な店舗の出店の影響もあると思っています。

また、まだ十分な分別が行われていない事業者もいるため、市の方からご説明等をさせていただきたいと考えています。

## **次第６：審議**

### **○ 檜原市一般廃棄物処理基本計画の改定について**

資料３を用いて事務局より説明。

#### **<以下、本議題における質疑内容>**

##### **（委員）**

目標設定に際しては、似たような人口や産業構造の都市や、目標とすべき都市との比較を行って欲しい。独自に目標を設定しても、その目標がどの程度のレベルなのか分からない。他都市との比較を行うことで、その点が明確になってくると思う。

##### **（事務局）**

他都市の状況について、どのような施策で数値を全うされているのか、次回、具体施策をご提案させていただく際に併せてご報告させていただきます。

ただ、廃棄物の処理のための計画ですので、まずは処理を全うすることに重点を置き、その上で、排出抑制やリサイクルにご協力いただくよう考えています。

##### **（委員）**

基本方針はこれでよいと思うが、２Ｒと３Ｒはどのように使い分けているのか。また、そろそろ元号が変わるので、平成から西暦にした方がよい。

##### **（事務局）**

当初は環境省も３Ｒを推進していましたが、後に、リサイクルよりも排出抑制と再使用を優先して取り組むべきと政策変更がされており、市としても同様に考えています。

平成の表記については西暦に改めさせていただきます。

**（委員）**

橿原市は他市に比べて分別がゆるい。ごみの減量化には一般市民の意識の啓発が不可欠であり、そのために分別を細かくし、ごみに関心を集めるのも一手である。ただ、締め付けるばかりでは普及しないので、取り組んだ分だけごみ袋を安くするなどのメリットも必要である。そのあたりのバランスに配慮しながら、市としてはどういう取組をしていくのか、考えていただきたい。

**（事務局）**

現在、市においては雑がみ回収に力を入れて進めているところです。実証事業などを通じて、市民の方々へ普及を図っているところですが、ご存知ない方もいらっしゃると思いますので、今後も普及啓発に努めてまいります。また、ごみの分別自体をそもそもご存知ない方も多くいらっしゃると思っています。現在、市でも1500品目ほど、廃棄物の種類を整理しており、分別をしやすいするためのツールとして、スマートフォン用のアプリの導入を考えているところです。

ごみ袋の中のごみを分類しますと、約4割が紙類となっています。そこにまず手を打つのが合理的だと考え、雑がみの回収に力を入れています。また次回、具体的なお話をさせていただきたいと思います。

**（委員）**

少子高齢化が進み、人口構造も変化するため、1日一人あたり排出量もフォローできるようにしてほしい。それから、高齢者向けのやさしいごみの分別方法を検討してもらいたい。

**（事務局）**

ごみの排出や分別が困難になられている方もございます。地域の皆様と協力して、市のほうも積極的にそういった方々のご要望にお答えしていきたいと思います。

**（委員）**

事業系のごみの減量策として、分別不良によるペナルティを課してはどうか。特に事業者に対しては、事業経費との兼ね合いがあるため、善意や協力だけに頼るというのは限界があると思う。

**（事務局）**

事業者が法律や処理計画に違反した場合、行政指導や行政処分を行うこととなります。経

済性を優先して、廃棄物処理が不適切に行われた事例はこれまで度々あり、その度に法律が改正され、厳罰化が進んできています。また、多量排出事業者には指導を行っており、立入検査の際に分別や資源の売却についてアドバイスするといったことも行っています。ただ、1日一人あたりの排出量ですと、市の人口が減少する一方、大規模な事業所が増加しており、全国平均と比較すると苦しい状況にあります。できる限り全国平均を下回るような効果的な活動を提案させていただきたいと考えています。

**（委員）**

分別を強化するのもよいが、高齢者の方など、困る立場の方がたくさんおられる。そういう中での強化はいかがかなものかと思う。

**（委員）**

現在の分別に対して、分別を強化した際のメリットとデメリットを、どこまで強化できるのかといったことも含めて、検討していただきたい。

**（事務局）**

ただちに分別品目を増やすということは考えていません。それよりも、今の分別政策を徹底することが優先されるべきだと考えています。

新たにリサイクルする品目を検討する際には、枯渇資源と地球温暖化の2つの観点から判断する必要があります。クリーンセンターかしはらでは熱利用と発電でサーマルリサイクルを行っており、この点も評価に入れながら検討を行います。

また、我々の力不足により、皆様に分別施策について、十分にお伝えできていない部分があります。しっかりとその点をお伝えすることが、一番効果的な施策に繋がるのだらうと思います。

**（委員）**

広域的な取組については、全市的な立場で積極的に取り組んでいただきたい。

また、廃棄物処理については、協働が何よりも重要だと思う。地域特性に関して、事業実施の際には細かく配慮していくことが必要である。

## 次第７：その他

### （事務局）

前回の審議会でご質問のありました集団回収業者の信頼性などについて調査を行いましたので、ご報告させていただきます。

まず、集団回収業者の所在についてですが、市内業者を利用している団体が１８８団体中７９団体で約４２％、市内を除く県内業者を利用している団体が９９団体で約５２％、合計で１７８団体、約９４％が県内業者を利用されています。

次に、集団回収業者の信頼性について、連絡先が携帯電話である業者が２者いましたが、利便性を重視して掲載されていたということで、今後は固定電話番号を掲載するとの回答が得られています。

最後に、虚偽申請の対策については、計量証明書を必ず添付していただく方向で進めてまいります。

### （委員）

リクエスト収集の進捗はどうなっているのか。多くの方が心配しておられる。

### （事務局）

大変ご心配をお掛けして申し訳ございません。現在協議を行っていますが、拠点収集の廃止と事業費増加による財政負担が課題となっています。また、有料化についても、有料化することで収支が悪化する可能性もあることから、思ったように進んではいません。

### （委員）

一番バランスが取れ、現実には即した形での履行をお願いしたい。現状を維持していくのもひとつかと思う。

### （事務局）

ありがとうございます。市としても、最終案に向けた第一ステップとして取り組みたい案を持っていますので、説明させていただきます。

まず、今の収集拠点を現行どおり維持し、立ち番の負担軽減のために午前中に回収に行きます。次に、ふれあい収集の対象者の要件を緩和し、サービスを拡大します。そして、処理手数料はまずは無料で行いたいと思っています。ただし、リクエスト収集が多くなれば有料化し、拠点収集との差別化を図るといったステップを踏むべきと考えています。

これらの調整を行った上で、それぞれの自治会に説明に上がり、平成31年度中の実施を目指して進めてまいります。

〔上記の説明に対し、全委員、異議なく了承〕

（委員）

今年の雑がみ分別モデル事業は順調か。

（事務局）

申し訳ありません。今、候補地を探しているところです。ぜひ手を挙げていただいて、地域の皆様と一緒に我々も頑張っていきたいと思っています。

#### ○ 次回審議会の開催日程について

事務局より説明。

- ・10月下旬を予定。
- ・改めて委員各位に日程調整を行う

説明後、上記について異議なく了承。

#### 次第8：閉会